

## 国家公安委員会及び警察庁が実施した政策評価についての個別審査結果

### 1 審査の対象

「政策評価に関する基本方針」（平成 17 年 12 月 16 日閣議決定）では、政策評価の円滑かつ着実な実施のため、総務省は「各行政機関が実施した政策評価について、その実施手続等の評価の実施形式において確保されるべき客観性・厳格性の達成水準等に関する審査」等に重点的かつ計画的に取り組むこととされている。

今回審査の対象とした政策評価は、次のとおりである。

「平成 20 年実績評価書」（平成 21 年 7 月 16 日付け国公委官発第 649 号及び警察庁甲官発第 225 号による送付分）における実績評価方式による 28 件の政策評価

### 2 審査の考え方と点検の項目

#### （目標の設定状況）

実績評価方式は、あらかじめ政策効果に着目した達成すべき目標を設定し、これに対する実績を測定して目標の達成度合いについて評価する方式であるので、当該目標に関して達成すべき水準を明確にする必要がある。

この審査において点検を行っているのは、次の項目である（注）。

- 目標に関し達成すべき水準が数値化されているなど具体的に特定されているかどうか。

（注）達成すべき目標は行政活動の一定のまとまりを対象として設定されるものであり、様々な要素を包含することとなる。このため、その具体的な達成水準を一義的に示すことは一般的に困難であり、その場合、関連した測定可能な指標を用いて、それぞれの指標ごとに達成水準を示す具体的な目標を設定し、その実績の測定をもって、達成すべき目標の達成水準の測定に代えることが必要となる。そのような措置を講じている府省の審査においては、達成すべき目標と測定可能な指標との構造を明らかにした上で審査を行うものとする。

### 3 審査の結果

「平成 20 年実績評価書」における実績評価方式による 28 件の政策評価についての審査の結果（事実確認の整理結果）は、以下のとおりである。

（全体注） 各府省の評価の実施状況を踏まえた課題等の整理・分析については、今年度内に別途取りまとめる予定である。

## 政策評価審査表（実績評価関係）

政策番号	政策	目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無					
		達成すべき目標 （「達成目標」）	指標数	測定指標	目標値	指標の目標値等の設定の有無	
1	基本目標1 市民生活の安全と平穩の確保	○	業績目標1 犯罪予防対策の推進による安全・安心なまちづくり	1 (参考指標2)	街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数  <参考指標> 刑法犯認知件数  <参考指標> 防犯ボランティア団体の活動状況 (防犯ボランティア団体数、構成員数等)	街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数について、減少傾向を維持する。	○
		○	業績目標2 地域警察官による街頭活動の強化	1 (参考指標1)	刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める地域警察官による検挙人員の割合  <参考指標> 地域警察官による刑法犯及び特別法犯の検挙状況	刑法犯及び特別法犯の総検挙人員に占める地域警察官による検挙人員の割合について、過去5年間並の高水準を維持する。	○
		—	業績目標3 少年非行の防止	2 (参考指標1)	少年非行防止のための取組みの推進状況（刑法犯少年の検挙人員、人口比、不良行為少年の補導人員、少年相談受理件数）  非行少年の立直り支援の状況（関係機関等と連携した非行少年の立直り支援事例等）  <参考指標> 14歳から19歳の少年人口	刑法犯少年を的確に検挙し、不良行為少年を的確に補導する。  非行少年の立直り支援を的確に推進する。	—
		—	業績目標4 犯罪等からの少年の保護	2	福祉犯の取締りの推進状況（福祉犯の検挙件数及び検挙人員並びに被害者数）  被害少年の支援等の状況（犯罪被害に係る少年相談受理件数及び少年補導職員等による被害少年の支援事例）	福祉犯の被害少年の保護を図る。  被害少年に対する支援を推進する。	—
		○	業績目標5 良好な生活環境の保持	2 (参考指標1)	風俗関係事犯の検挙件数及び検挙人員  風俗営業等に対する行政処分件数  <参考指標> 風俗営業等の許可・届出数	風俗関係事犯の検挙件数及び検挙人員で過去5年間の平均を上回る。  風俗適正化法に基づく行政処分件数で過去5年間の平均を上回る。	○
		○	業績目標6 経済犯罪、環境犯罪等の取締りの推進による良好な経済活動、自然環境等の確保	5 (参考指標3)	ヤミ金融事犯の検挙事件数及び検挙人員  特定商取引等事犯の検挙事件数及び検挙人員  知的財産権侵害事犯の検挙件数及び検挙人員	ヤミ金融事犯の検挙事件数及び検挙人員で過去5年間の平均を上回る。  特定商取引等事犯の検挙事件数及び検挙人員で過去5年間の平均を上回る。  知的財産権侵害事犯の検挙件数及び検挙人員で過去5年間の平均を上回る。	○

政策番号	政策	目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無					
		達成すべき目標 （「達成目標」）	指標数	測定指標	目標値	指標の目標値等の設定の有無	
					廃棄物事犯の検挙事件数及び検挙人員 食の安全・安心に係る事犯の検挙事件数及び検挙人員 <参考指標> 警察に寄せられた悪徳商法に関する相談件数 <参考指標> 産業廃棄物の不法投棄件数 <参考指標> 「食品表示110番」の相談受理件数	廃棄物事犯の検挙事件数及び検挙人員で過去5年間の平均を上回る。 食の安全・安心に係る事犯の検挙事件数及び検挙人員で過去5年間の平均を上回る。	○
2	基本目標2 犯罪捜査の的確な推進	○	業績目標1 重要犯罪に係る捜査の強化	1 (参考指標3)	各重要犯罪の検挙率	殺人、強盗、強姦等の各重要犯罪の検挙率の向上に努める。	○
					<参考指標> 各重要犯罪の認知件数		
					<参考指標> 各重要犯罪の検挙件数		
					<参考指標> 各重要犯罪の検挙人員		
		○	業績目標2 重要窃盗犯に係る捜査の強化	1 (参考指標3)	各重要窃盗犯の検挙率	侵入窃盗、自動車盗等の各重要窃盗犯の検挙率の向上に努める。	○
					<参考指標> 各重要窃盗犯の認知件数		
					<参考指標> 各重要窃盗犯の検挙件数		
					<参考指標> 各重要窃盗犯の検挙人員		
		-	業績目標3 政治・行政・経済の構造的不正の追及の強化	1	政治・行政・経済の構造的不正事案の検挙状況（検挙事件数及び検挙事例）	政治・行政・経済の構造的不正事案の検挙を推進する。	-
		○	業績目標4 振り込め詐欺・恐喝等匿名性の高い知能犯罪の捜査活動及び予防活動の強化	2 (参考指標1)	振り込め詐欺・恐喝の発生状況（認知件数及び被害総額）	振り込め詐欺・恐喝の認知件数及び被害総額を前年よりも減少させる。	○
					振り込め詐欺・恐喝の検挙状況（検挙件数及び検挙人員）	振り込め詐欺・恐喝の検挙件数及び検挙人員を前年よりも増加させる。	○
<参考指標> 振り込め詐欺・恐喝の検挙率							

政策番号	政策	目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無					
		達成すべき目標 （「達成目標」）	指標数	測定指標	目標値	指標の目標値等の設定の有無	
		○	業績目標5 科学技術を活用した捜査の更なる推進	4	DNA型鑑定の活用状況（鑑定事件数及び効果的事例）	DNA型鑑定の鑑定事件数の過去5年間の増加傾向を維持する。 また、DNA型鑑定の効果的な活用を更に推進する。	○
					DNA型データベースの活用状況（活用件数及び効果的事例）	DNA型データベースの活用件数の過去3年間の増加傾向を維持する。 また、DNA型データベースの効果的な活用を更に推進する。	○
					掌紋業務における指掌紋自動識別システムの活用状況（活用件数及び効果的事例）	掌紋業務における指掌紋自動識別システムの活用件数を増加させる。 また、掌紋業務における指掌紋自動識別システムの効果的な活用を更に推進する。	○
					画像処理装置の活用状況（画像処理件数及び効果的事例）	画像処理件数の過去5年間の増加傾向を維持する。 また、画像処理の効果的な活用を更に推進する。	○
3	基本目標3 組織犯罪対策の強化	○	業績目標1 暴力団の存立基盤の弱体化	3 (参考指標2)	コンプライアンス条例等の制定率及び「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」（以下「企業指針」という。）の普及状況（事例）	地方公共団体におけるコンプライアンス条例等の制定率を向上させるとともに、企業指針を企業に普及させる。	○
					地方公共団体の公共工事における暴力団排除要綱等の整備率	地方公共団体の公共工事における暴力団排除要綱等の整備率を向上させる。	○
					組織的犯罪処罰法の適用件数及び起訴前の没収保全命令による没収保全額	組織的犯罪処罰法第9条（法人等経営支配）、第10条（犯罪収益等隠匿）、第11条（犯罪収益等收受）及び第23条（起訴前の没収保全命令）の適用件数及び没収保全額を増加させる。	○
					<参考指標> 暴力団構成員等の主要罪種別検挙人員		
					<参考指標> 伝統的資金獲得活動の検挙人員		

政策番号	政策	目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無					
		達成すべき目標 （「達成目標」）	指標数	測定指標	目標値	指標の目標値等の設定の有無	
		○ 業績目標2 取締りの強化による薬物密輸・密売組織の弱体化	2 (参考指標1)	覚せい剤事犯の総検挙人員に占める暴力団構成員等の検挙人員の割合及び内数として暴力団首領・幹部の割合	覚せい剤事犯の総検挙人員に占める暴力団構成員等の検挙人員の割合等を増加させる。	○	
				麻薬特例法の適用件数及び起訴前の没収保全命令による没収保全額	麻薬特例法第5条（業として行う不法輸入等）、第6条（薬物犯罪収益等隠匿）、第7条（薬物犯罪収益等收受）及び第19条第3項（起訴前の没収保全命令）の適用件数及び没収保全額を増加させる。	○	
				<参考指標> 薬物事犯別検挙人員及び内数として暴力団構成員等の検挙人員とその割合			
		○ 業績目標3 銃器犯罪の取締りの強化による暴力団等犯罪組織の弱体化	3 (参考指標3)	暴力団等によるとみられる銃器発砲事件の発生件数	暴力団等によるとみられる銃器発砲事件の発生件数を減少させる。	○	
				けん銃及びけん銃部品に係る銃刀法違反事件の総検挙人員に占める暴力団構成員等の検挙人員の割合及び内数として暴力団首領・幹部の割合	けん銃及びけん銃部品に係る銃刀法違反事件の総検挙人員に占める暴力団構成員等の検挙人員の割合等を増加させる。	○	
				武器庫事件の検挙件数及び押収丁数	武器庫事件（暴力団等犯罪組織の組織管理に係る3丁以上のけん銃押収事件）の検挙件数及び押収丁数を増加させる。	○	
				<参考指標> 銃器発砲事件の発生件数			
				<参考指標> けん銃及びけん銃部品に係る銃刀法違反事件検挙人員			
				<参考指標> けん銃の押収丁数及び内数として暴力団員等からの押収丁数			
		－ 業績目標4 来日外国人犯罪対策の強化	2 (参考指標3)	国際犯罪組織の犯罪インフラ（不法滞在助長事犯等）及び組織的な背景を有する来日外国人犯罪（組織的侵入盗等）の検挙状況（事例）	国際犯罪組織の取締りを強化する。	－	
				ICPOを通じた情報の受・発信数	ICPOを通じた積極的な情報交換等による国際組織犯罪の取締りを強化する。	－	
				<参考指標> 来日外国人犯罪の検挙人員、検挙件数			
<参考指標> 来日外国人犯罪罪種別検挙件数							
<参考指標> 来日外国人犯罪の共犯件数							

政策番号	政策	目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無					
		達成すべき目標 （「達成目標」）	指標数	測定指標	目標値	指標の目標値等の設定の有無	
		○	業績目標5 犯罪収益対策の推進	4	疑わしい取引の届出件数	疑わしい取引の届出件数を増加させる。	○
					疑わしい取引に関する情報を端緒とした事件検挙件数	疑わしい取引に関する情報を端緒とした事件検挙件数を増加させる。	○
					組織的犯罪処罰法及び麻薬特例法の適用件数及び起訴前の没収保全命令による没収保全額	組織的犯罪処罰法（第9条、第10条、第11条、第23条）及び麻薬特例法（第5条、第6条、第7条、第19条第3項）の適用件数及び没収保全額を増加させる。	○
					外国F I UとのMOU締結件数	外国F I UとのMOUの締結件数を増加させる。	○
4	基本目標4 安全かつ快適な交通の確保	○	業績目標1 歩行者・自転車利用者の安全確保	2	歩行中・自転車乗用中の交通事故死者数	歩行中・自転車乗用中の交通事故死者数を2割以上減少させる。	○
					歩行者と自転車との交通事故件数	歩行者と自転車との交通事故件数を減少させる。	○
		○	業績目標2 高齢運転者による交通事故の防止	1 （参考指標1）	70歳以上高齢運転者による交通死亡事故件数及び70歳以上の免許保有者10万人当たりの死亡事故件数	70歳以上高齢運転者による交通死亡事故を約1割以上抑止する。	○
					<参考指標> 70歳以上の高齢運転免許保有者数		
		○	業績目標3 飲酒運転対策を始めとする悪質・危険運転者対策の推進による交通秩序の確立	2 （参考指標1）	悪質性・危険性の高い違反に起因する交通死亡事故件数	悪質性・危険性の高い違反に起因する交通死亡事故件数を減少させる。	○
					暴走族の構成員数、い集・走行回数及び暴走族に関する110番通報件数	暴走族の構成員数、い集・走行回数及び暴走族に関する110番通報件数を減少させる。	○
					<参考指標> 暴走族構成員の検挙者数		
		○	業績目標4 被害軽減対策の推進による交通事故死者数の減少	2 （参考指標2）	シートベルトの着用率	助手席の着用率を運転席と同水準にするとともに、後部座席の着用率を50%以上にする。	○
					チャイルドシートの使用率	チャイルドシートの使用率をできるだけ向上させ、その正しい使用の徹底を図る取組みに努める。	○
					<参考指標> 過去5年間のシートベルトの着用有無別致死率		
					<参考指標> 過去5年間のチャイルドシートの使用有無別致死率		

政策番号	政策	目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無					
		達成すべき目標 （「達成目標」）	指標数	測定指標	目標値	指標の目標値等の設定の有無	
		○	業績目標5 道路交通環境の整備	4	交通安全施設等の整備により抑止される死傷事故	交通安全施設等の整備により、死傷事故を以下のとおり抑止する。 ○信号機の高度化等により、死傷事故を約4万4,000件抑止 ○あんしん歩行エリアの整備により、エリア内の死傷事故を約2割抑止 ○事故危険箇所対策により、対策実施箇所における死傷事故を約3割抑止	○
					信号機の高度化等により抑止される二酸化炭素の排出量	信号機の高度化等により二酸化炭素の排出量を約70万t-CO <sub>2</sub> /年削減させる。	○
					信号制御の高度化により短縮される交差点等の通過時間	対策実施箇所において通過時間を約1割（3.2億人・時間）短縮させる。	○
					1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設周辺等の主な信号機のバリアフリー化の割合	高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律の特定経路を構成する道路上における信号機のバリアフリー化率を約8割に向上させる。	○
5	基本目標5 国の公安の維持	○	業績目標1 重大テロ事案等の予防鎮圧	4 （参考指標1）	重大テロ事案等の発生状況（事例）	重大テロ事案等の未然防止を図る。	○
					重大テロ事案等の対処に係る各種訓練の実施状況（件数及び事例）	各種訓練を的確に実施する。	—
					治安警備及び警衛・警護の実施状況（事例）	的確な警備措置を行い、警備対象の安全を図る。	—
					情報交換等関係機関との連携状況（事例）	関係機関との連携を強化する。	—
					<参考指標> 治安警備及び警衛・警護実施件数		
		—	業績目標2 大規模自然災害等の重大事案への的確な対処	3 （参考指標2）	大規模自然災害等の重大事案への対処に係る各種訓練の実施状況（件数及び事例）	各種訓練を的確に実施する。	—
					災害警備活動の実施状況（事例）	重大事案発生に伴う被害の最小化を図る。	—
					情報交換等関係機関との連携状況（事例）	関係機関との連携を強化する。	—
					<参考指標> 災害種別ごとの発生件数、警察官の平均出動人員及び出動延べ人員		
					<参考指標> 広域緊急援助隊及び広域緊急援助隊特別救助班の事案ごとの出動延べ人員		

政策番号	政策	目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無					
		達成すべき目標 （「達成目標」）	指標数	測定指標	目標値	指標の目標値等の設定の有無	
		—	業績目標3 警備犯罪取締りの的確な実施	2 (参考指標1)	警備犯罪の検挙状況（検挙件数及び検挙事例）及び対処状況（対処事例）	主要警備対象勢力による違法事案に対し、的確な取締りを実施する。	—
					入国管理局との合同摘発等関係機関との連携状況（事例）	関係機関との連携を強化する。	—
			<参考指標> 不法滞在者数				
		—	業績目標4 グローバルな情報収集・分析機能の強化による諜報・国際テロ等の未然防止及びこれらの事案への的確な対処	2	グローバルな情報収集・分析のための態勢強化状況（事例）	情報収集・分析態勢を強化する。	—
	国内外の関係機関との情報交換等の連携状況（事例）			関係機関との連携を強化する。	—		
6	基本目標6 犯罪被害者等の支援の充実	○	業績目標1 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実	4 (参考指標2)	犯罪被害給付制度の運用状況（申請に係る被害者数、支給被害者数、不支給被害者数、裁定・決定金額、政令・規則改正に伴う重傷病給付金の支給範囲の拡大及び親族間犯罪の被害に係る支給要件の緩和に係る被害者数、裁定・決定金額）	犯罪被害給付制度の適切な運用を図る。	—
					性犯罪被害者を始めとする身体犯被害者に対する診断書料、初診料等の支給件数	性犯罪被害者を始めとする身体犯被害者に対する診断書料、初診料等の適切な支給を図る。	—
					二次的被害を回避・軽減するための被害者支援車両の整備台数	最近の増加傾向を維持する。	○
					関係機関・団体等との連携状況（民間被害者支援団体における相談受理件数、犯罪被害者等早期援助団体の指定数及び警察からの情報提供件数）	それぞれの指標について最近の増加傾向を維持する。	○
					<参考指標> 刑法犯による死者及び重傷者の数		
					<参考指標> 主な身体犯の犯罪認知件数		
7	基本目標7 情報セキュリティの確保	○	業績目標1 サイバー空間の安全確保	3 (参考指標4)	サイバーテロの発生状況	サイバーテロの発生及び被害の拡大を防止する。	○
					サイバー犯罪の検挙件数	サイバー犯罪の検挙件数について最近の増加傾向を維持する。	○
					技術支援件数	技術支援件数で過去3年間の平均を上回る。	○
					<参考指標> サイバー犯罪等に関する相談受理件数		
					<参考指標> インターネット安全・安心相談システムへのアクセス件数		
					<参考指標> インターネット・ホットラインセンターの通報受理件数		

政策 番号	政 策	目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無					
		達成すべき目標 （「達成目標」）	指標数	測定指標	目標値	指標の目 標値等の 設定の有 無	
					<参考指標> インターネット利用者数		
8	基本目標 8 ITを活用した 国民の利便性・ サービスの向上	○	業績目 警察行政の電子化の推進 標 1	3	国の警察機関が行う申請・届出等 手続のオンライン利用率	オンライン利用率の向上 に努める。	○
					申請・届出等手続のオンライン化 率	100%を継続する。	○
					オンライン申請・届出等手続の対 象システムにおける実質的な稼働 率	100%を継続する。	○
合計	28業績目標	○=21		68 (参考 指標 38)		○=49	

- (注) 1 国家公安委員会・警察庁の「平成20年実績評価書」を基に当省が作成した。  
2 各欄の記載事項については、「政策評価審査表（実績評価関係）の記載事項」を参照

## 政策評価審査表（実績評価関係）の記載事項

欄 名	記 載 事 項
「政策番号」欄	国家公安委員会・警察庁の平成20年実績評価書において基本目標に付されている番号を記入した。
「政策」欄	評価書の「基本目標」欄に記載されている評価対象政策の名称を記入した。
「目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無」欄	<p>目標に関し達成すべき水準が数値化されている場合及び定性的であっても目標が達成される水準が具体的に特定されているものは、「○」を記入した。</p> <p>上記に該当しないものは、「－」を記入した。</p> <p>なお、評価対象政策に複数の指標が設定されている場合には、少なくとも一つの指標について達成しようとする水準が数値化等されているものは「○」を記入した。</p>
「達成すべき目標（「達成目標」）」欄	評価書の「業績目標」欄に記載されている達成目標を記入した。
「測定指標」及び「指標数」欄	「達成すべき目標」に対する実績を定期的・継続的に測定するため使用する指標及びその数を記入した。
「目標値」欄	「達成すべき目標」についての目標とする値、水準等を定めている場合に、その値、水準等を記入した。
「指標の目標値等の設定の有無」欄	各測定指標に着目した場合の目標値等の設定について、上記の「目標に関し達成しようとする水準が数値化等により特定されている政策の有無」欄と同様の分類により「○」及び「－」を記入した。